



星空観察

## 活動の始まり

活動の始まりは「一緒に星空を見ませんか？」と瀧本さんが近所の親子に声をかけたことがきっかけでした。瀧本さんは学生時代、天文部だったこともあり、自分の望遠鏡を使用して、子どもたちのために小さな観望会を行いました。それ以降、協力してくれる人が増え、現在は坂下星見の会として約20名のメンバーが活動しています。

坂下星見の会主催の一大イベントは夏休みに開催される「親子でわいわい星まつり」です。このイベントは星空観察会を中心に、星まつりコン

## ペットキャンドル1000灯のタベ

ろうそくの火が消えないよう風除けにペットボトルを加工したものを利用して、環境への配慮をしています。



サートやペットボトルキャンドルなども行われています。

瀧本さん「始めは数名に呼びかけて始まった小さな催しでしたが、今では市内から約300名の参加者が集まるようになりました。」

平成14年から始めたこのイベントが、年々盛んになってきたのは、地域の人たちをはじめとする多くの人の協力が瀧本さんたちの活動の支えとなってきたからです。

## 天文台「童夢」誕生

こうした人と地域、自然がつながる活動が亀山市からも評価され、坂下の豊かな自然を活かした生涯学習拠点施設をつくらうと、鈴鹿峠自然の家に天文台がつくられることになりました。

平成21年5月、天文台のオープンにむけて、市教育委員会と坂下星見の会



天文台「童夢」オープン記念発表会

平成22年3月、天文台「童夢」が完成しました。オープニングセレモニーでは子どもたちが体験し、学んだことをそれぞれ発表しました。



坂下星見の会のみならず、これまでの活動が評価され、平成23年「環境省」星の街「あおぞらの街」全国協議会会長賞「二天の川賞」や三重県「環境活動賞」を受賞しました。

による亀山市協働事業「未来宇宙探検隊」を結成。公募した市内の親子を対象に、坂下星見の会のメンバーが講師となり、宇宙に関する勉強会や星空観察の指導などを連続講座として実施しました。

完成した天文台「童夢」の直径は3.5メートルで、口径40センチのカセグレイン式反射望遠鏡があります。三重県内屈指の望遠鏡です。月のクレーターや土星の輪、星雲・星団などがはっきり見えるので、観察した子どもたちも歓声を上げます。

現在、瀧本さんたちは「童夢」での星空案内などをする天文台運営スタッフとして関わっています。市と団体がうまく協力・連携して、さらに活動の輪を広げています。

鈴鹿峠自然の家

## 天文台「童夢」を体験しよう!

天文台運営スタッフが望遠鏡を操作して星空案内をいたします。どなたでもお気軽にご利用ください。  
(雨天・曇天の場合は、中止)



使用料 1人100円(小学生未満無料)

使用時間 午後6時30分～午後9時30分

申込方法 ご利用の7日前までに、教育委員会生涯学習室へお申し込みください

亀山市教育委員会生涯学習室 TEL/0595-84-5057